

アカウニの資源生態調査—I

小 島 博・谷 本 尚 則・浜 崎 晃

本県で利用されるウニ類はアカウニ、ムラサキウニ及びバフソウニの3種である。アカウニは最も大型となり、夏場に、主に海士漁業の対象となる。

アカウニは種苗生産の可能な種類であるが、種苗の有効利用に関して不明な点が多い。アカウニの生態や資源に関する知見を集め、アカウニの資源培養に関する基礎とする。本年度はアカウニの生殖腺の季節変化を中心に調査したので、その概要を報告する。

1 方 法

生殖腺の調査に供したアカウニは由岐町阿部及び日和佐町友垣の各地先で採集した。阿部地先では58年8月から59年3月の間に5回、友垣地先では59年3月に2回それぞれ採集した。採集した水深範囲は1～5mであった。

殻径と体重を測定後、殻径50mm以上の個体について生殖腺重量を測定した。生殖腺指数は(生殖腺重量/体重)×100として求めた。

2 結 果

アカウニ生殖腺指数の季節変化を図1に示した。8

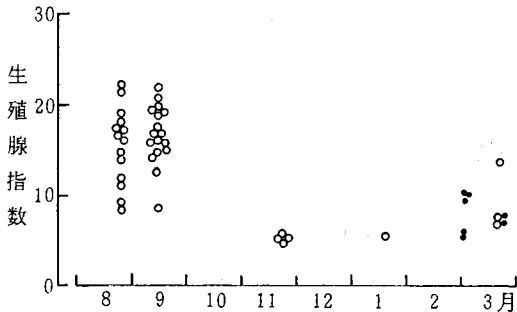


図1 アカウニ生殖腺指数((生殖腺重量/体重)×100)の季節変化 白丸は阿部, 黒丸は友垣

月下旬から9月中旬にかけて生殖腺指数は8～22と範囲は広いが、その平均値は8月下旬に15.4, 9月中旬に17.0と高い値を示した。11月下旬～1月中旬の

生殖腺指数は5～6と低い。3月上旬には6～10で、平均値は8.6, 3月下旬には7～14で、平均値は8.8であった。

採集したアカウニの最小殻径は9.4mmであった。このアカウニは日和佐町友垣で59年3月1日に水深1m地点で採集された。この時の調査で採集したアカウニ及びムラサキウニの殻径組成を図2に示した。採集

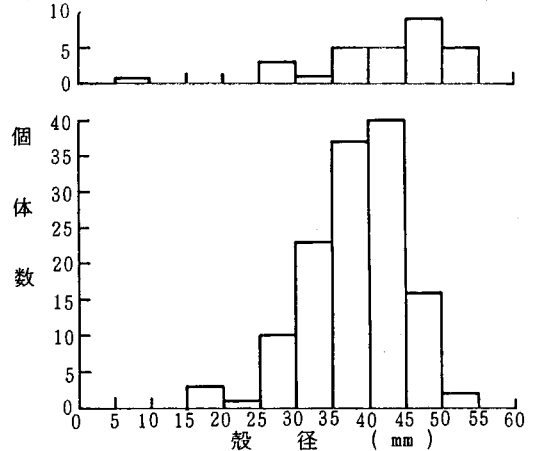


図2 アカウニ(上段)とムラサキウニ(下段)の殻径組成 日和佐町友垣(59.3.1)

水域の水深は5m以浅で、アカウニでは殻径35mm以上、ムラサキウニでは30mm以上の個体が多く、小型個体は少ない。8～3月にかけて採集したアカウニは多くが殻径35mm以上で、小型個体の採集はきわめて少なかった。

3 考 察

アカウニの生殖腺指数は8～9月に15～17と高いが、11月下旬には5～6で著しく低下する。10～11月上旬が産卵盛期と推定される。冬期の生殖腺指数は低い、3月頃から再び生殖腺が発達し始めるものと推察された。春から夏にかけて生殖腺の発達状態は不明なので、来年度に調査する予定である。

殻径35mm以下のアカウニの採集数は少なく、この点に関しても今後調査する必要がある。